

横浜本牧絵画館

Yokohama Honmoku Gallery



再現模写で推考する

幻の本牧八景

The eight famous views of Honmoku

八王子秋月
三溪園晚鐘
和田山夕照
宮原帰帆
二の谷落雁
間門暮雪
小港夜雨
十二天晴嵐

【開館時間】 10:00 ～ 17:00 (入館は 16:30 まで)

【休館日】 毎週火曜日・12.28(日)-1.3(土) 冬季休館

【観覧料】 一般 500 円 / 割引 400 円 (65 歳以上、障がい者手帳・三溪園入園券をお持ちの方)

【後援】 **NHK** 横浜放送局 ■ 神奈川新聞社 【協力】 小島 昇・長沢 博幸

〒231-0822

神奈川県横浜市中区本牧元町 40-7

TEL:045-629-1150 FAX:045-629-1151

公式HP: <https://www.yh-g.org/>

関連HP: <https://www.iwata-museum.org/>

2025.10.11^{Sat} — 2026.1.18^{Sun}

幻の「本牧八景」―展示にあたって

「金沢八景」のように、地名を冠した「八景」が各地にあります。その発祥は11世紀の中国（宋）に遡りますが、今日なお「各地各所の景観ベスト8」というような形で定着しています。横浜本牧はかつて風光の地として内外に知られ、とくに幕末明治以降は、外来の油彩洋画系の画家も、伝統を踏まえた日本画家も、盛んに往来を重ねました。「本牧八景（小島一谿作）」の誕生が昭和8年（1933年）を待たねばならなかったのは、むしろ不思議なことと言わなければなりません。戦中戦後の混乱を経て、その行方は不明です。本作はかねて当館が関心を寄せてきた「本牧ゆかりの画家が本牧を描いた絵」でもあり、乏しい資料からの写真加工による再現と、さらに現役日本画家・霜鳥忍氏の「創造的想像」によって補完された肉筆再現模写を中心に、「幻の本牧八景」として推考の一端をご覧いただくことにしました。



画家・霜鳥忍氏

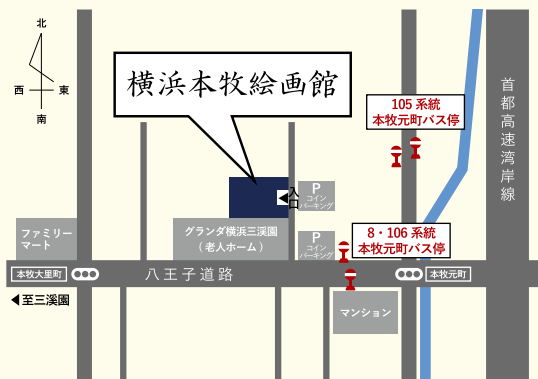
横浜本牧絵画館

Yokohama Konmoku Gallery

当館は、横浜の名勝「三溪園」に近く、絵を見ることが好きな方、絵を描くことが好きな方のための、具象絵画を中心とする私設美術館です。

岩田榮吉(1929-1982)

当館は「岩田榮吉」の作品を中心にコレクションしております。岩田榮吉は、東京藝術大学油絵科を首席で卒業し、その後生涯パリで制作を続けた画家です。フェルメールなどに代表されるオランダ 17 世紀絵画の影響を受ける一方、トロンプルイユ（だまし絵）を始めとして、伝統的な技法を用いた写実的な細密画を多く描きました。



※専用の駐車スペースはありません。(近隣のコインパーキングをご利用ください)
※車いす用の来車スペースが1台あります。ご利用は事前にご連絡ください。



二次元バーコードにて当館の詳細な情報が見られます

公共交通機関からのアクセス

元町・中華街駅より

(東急東横線・みなとみらい線)

ホーム横浜寄りを上り、4番出口右方「山下町」バス停から
横浜市営バス8系統「本牧車庫前」行「本牧元町」下車
所要約30分・徒歩1分

横浜駅より

(JR各線、東急東横線、京浜急行、相鉄線、横浜市営地下鉄)

東口バスターミナルから横浜市営バス8系統・105系統
「本牧車庫前」行「本牧元町」下車
所要約40分・徒歩1分

桜木町駅より

(JR京浜東北線、横浜市営地下鉄)

横浜市営バス11番乗場から105・106系統
又は2番乗り場から8系統
「本牧車庫前」行「本牧元町」下車 所要約30分・徒歩1分

根岸方面より

横浜市営バス58・101系統「和田山口」で下車、
道の反対側の横浜市営バス4番乗場8・106・105系統
「本牧車庫前」行「本牧元町」下車
「和田山口」から所要約10分・徒歩1分